

科目ナンバー	PSY-2-013-sn			科目名	発達心理学		
教員名	則近 千尋			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	私たちが生まれ死にいたるまでどのように育ち育てられるのかということについて発達心理学の知見に基づいて概観する。生まれた赤ちゃんが立てるようになったり、言葉を話したり、自分や他者の感情を理解したり、自分のことは自分でやったり…、現在では当たり前のように行っていることであっても、それらは私たちがもともと持っている力や環境や経験などの様々な積み重ねの中で可能になったことである。この授業では人においてある程度共通した成長の道筋を理解するとともに、その成長の道筋の多様さについて検討する。						
到達目標	本授業の目標は3つある。第1に、この授業では人の育ちの一般的な道筋とその多様さを理解することを通して、今現在の自分自身や抱える課題がどのような過程を経て成り立ってきたのか考えることを目的とする。第2に、今後の自分自身が歩むかもしれない道筋について考えることを目的とする。第3に人の育ちの多様性を知ることによって、自分とは異なる他者を理解するための手がかりを得たり、理解しようとしたりすることを目的とする。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		○	伝え合う力	分析し、思考する力	
共生のための態度		自己を抑制する力			協働する力	○	構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性			関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	授業は講義とディスカッション、振り返りなどのアクティブラーニング形式併用で行う。この授業ではMoodleを使用する。授業のはじめにレジュメを配布するので、必ず確保すること。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング				課題解決型学修	
受講条件 前提科目	「心理学」や「教育と心理」のどちらかを履修済であること。履修希望者が60名を超えた場合には、履修制限を行う場合がある。その際は、心理人間文化コースと教職希望の学生に優先的に履修を認める。						
アセスメントポリシー及び評価方法	「心理学」や「教育と心理」のどちらかを履修済であること。履修希望者が60名を超えた場合には、履修制限を行う場合がある。その際は、心理人間文化コースと教職希望の学生に優先的に履修を認める。成績評価は提出物(30%)と、テスト(70%)にて行う(テストは資料持ち込み不可)。テストは基本的に配布レジュメから出題されるので、各自レジュメを確保しておくこと。						
教材	教材は授業中に資料・レジュメを配布する。						
参考図書	坂上裕子・山口智子・林創・中間玲子「問から始める発達心理学 生涯にわたる育ちの科学」有斐閣、無藤隆(編)「よくわかる乳幼児心理学(やわらかアカデミズム・わかるシリーズ)」ミネルヴァ書房、内田 伸子(編)「よくわかる発達心理学(やわらかアカデミズム・わかるシリーズ)」ミネルヴァ書房、遠藤利彦・佐久間路子・徳田治子・野田淳子「乳幼児のこころ」有斐閣 *その他、発達心理学関係書籍を積極的に参考にしましょう。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業:授業ガイダンス授業の概要とスケジュール、関連資料等についてシラバスに基づき解説する。その上で、授業運営、評価等について説明を行う						
授業外学修内容	シラバス授業で授業について必要な情報を収集した上で履修手続きしてほしい。履修に当たっては、発達心理学とはどのような学問か把握するために図書館などで概説書に目を通しておくこと。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	「発達の概念と研究法:発達するとはどういうことで、どのように捉えるのか?」 発達心理学の成り立ちを概観するとともに、発達心理学の基本概念を理解することを目標とする。また発達心理学の知見がどのような手法で得られてきたかについて研究法の概説を行う。						
授業外学修内容	授業で紹介された発達心理学の概念や研究知見について、図書館などで関連書籍を参照しながら発達心理学の基本概念について復習し自分なりにまとめておくこと。					時間数	1
3週目							
	「妊娠と胎児期の発達」 お腹の中にいて見えなくてもすでに赤ちゃんは日々発達している。また妊娠にともなう母親・父親への						

授業学修内容	心身への影響は大きく、母体の環境は後の子どもの心身の発達に大きな影響を及ぼすと考えられている。授業では胎児の発達とともに妊娠による父親・母親・家族への影響やその重要性について紹介する。		
授業外学修内容	予習として身の回りの人や親に妊娠期の出来事やどんなことを考えていたか聞いてみよう。 復習として胎児期の発達について自分なりにまとめ、疑問があれば調べておくこと。	時間数	1
4週目			
授業学修内容	「乳幼児期・：知覚・認知の発達」 赤ちゃんはどのように世界をとらえているのだろうか。かつては「タブラ・ラサ(白紙)」であると考えられていたが、研究は赤ちゃんが有能であり、様々なことを理解していることが明らかになっている。この授業では乳幼児期の知覚・認知の発達について概観する		
授業外学修内容	予習として乳幼児期の知覚・認知の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として乳幼児の知覚・認知の発達について自分なりにまとめて、乳幼児期の知覚・認知の発達について自分の親に聞いたり、身の回りの小さい子を観察したりしながら興味深かった行動やエピソードをまとめておくこと。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	「乳幼児期・：社会性の発達(人への指向性と二者関係)」 赤ちゃんは言葉が話せないにも関わらず、生まれながら人に関心をもっているような行動を行い、大人とやりとりを行う。また、その中でも特に重要な他者(多くの場合は親)との間にアタッチメントを形成し、それは後の様々な社会情緒的発達の基盤となる。ここでは乳幼時期の二者関係の発達について概観する		
授業外学修内容	予習として乳幼児期の親子関係について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習としてアタッチメントについて自分なりにまとめて、乳幼児期の大人とのやりとりについて自分の親に聞いたり、身の回りの小さい子を観察したりしながら興味深かった行動やエピソードをまとめておくこと。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	「乳幼児期・：認知・言語の発達」 言葉とその言葉が表すものの関係は恣意的であり、言葉は「いま・ここ」にないものについて他の人と話すことを可能にする。この授業では言葉の発達とともに、その前提となる象徴機能や注意・意図の理解の発達について概観する。		
授業外学修内容	予習として乳幼児期の言語発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として言語発達やそれに関連する発達について自分なりにまとめて、乳幼児期の自分のおしゃべりについて自分の親に聞いたり、身の回りの小さい子を観察したりしながら興味深かった行動やエピソードをまとめておくこと。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	「乳幼児期・：自己・感情の発達」 いつごろから私たちは自分が私だとわかるようになるのだろうか。生後数か月の赤ちゃんでさえ、自分の手や足を不思議そうに眺めるという現象は良く報告される。自分や自分の心の中で起きていることを理解できるようになるという発達は興味深いものであるとともに、心身の健康のために極めて重要なものである。この授業では自己の発達と感情の発達について概観する。		
授業外学修内容	予習として乳幼児期の自己・感情の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、乳幼児期について今回の授業に関連するエピソードを自分の親について聞いたり、身の回りの子どもを観察したりして集めてみよう	時間数	2
8週目			
授業学修内容	「乳幼児期・：社会性の発達(関係のひろがり和社会的認知)」 幼児期において子どもは親との関係だけではなく、友達との関係を取り結ぶようになる。このような他者との関わりにおいては他者の気持ちを理解する力が必要不可欠となる。この授業では幼児期の社会性の発達とその前提となる様々な発達について概観する。		
授業外学修内容	予習として乳幼児期の社会性の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、今回の授業の内容に関連するエピソードを保育園・幼稚園のときの自分と友達とのやりとりを思い出したり、身の回りの子どもを観察したりして集めてみよう	時間数	2
9週目			
授業学修内容	「児童期の発達」 児童期(小学生ごろ)の子どもは、運動能力も認知能力も成長を遂げる。この回では、児童期の子どもの発達		

	に関する主要な理論や、学校との関連、友人関係などについて紹介する。		
授業外学修内容	予習として児童期の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、今回の授業の内容に関連するエピソードを児童期の自分を思い出して、身の回りの子どもを観察したりして集めてみよう	時間数	2
10週目			
授業学修内容	「青年期の発達」 「疾風怒濤」と言われるように青年期は身体的な成熟とともに心理的にも大きな変化がみられ、自立と依存の間で大きく揺れ動く。また関係性が大きく広がる時期である。ここでは青年期の発達に関する主要な理論を検討するとともに、青年期をとりまく問題や発達の多様性について検討する		
授業外学修内容	予習として青年期の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、今回の授業の内容に関連するエピソードを、自分を顧みたり、身の回りの人を観察したり話したりして集めてみよう	時間数	2
11週目			
授業学修内容	「成人期(若年期)の発達」 成人期前期においてはアイデンティティーの形成や職業選択や家庭生活など様々な場面で重要な役割を担うようになる。この回では成人期前期の発達や関わる問題について概観する。		
授業外学修内容	予習として成人期の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、今回の授業の内容に関連するエピソードを、自分の親について話をきいて集めたり、自分自身の職業選択や今後の展望について考えてみたりしよう	時間数	2
12週目			
授業学修内容	「成人期(壮年期)の発達」 成人期は自分ではなく他者や他の世代を養い、与えていくことが課題である。ライフコースの中では比較的安定した時期であると考えられていた成人期中期であるが、近年の少子化や高齢化、高学歴化などの社会経済的な変化や中年期に伴い、心理的な問題を抱えることもあることが分かっている。この回では子育て・仕事・介護や看取りなどを経験する成人期中期について概観する		
授業外学修内容	予習として成人期の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、今回の授業の内容に関連するエピソードを、自分の親について話をきいて集めたり、自分自身の職業選択や今後の展望について考えてみたりしよう	時間数	2
13週目			
授業学修内容	「老年期の発達」 老年期においては身体的衰えや認知的な衰えなどが生じ、本人・家族の在り方は変化していく。ここでは加齢にともなう心身の変化について概観するとともに、生涯発達という観点から加齢に伴う発達についてみていく。		
授業外学修内容	予習として老年期の発達について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、今回の授業の内容に関連するエピソードを、自分の祖父母や身の回りの人に話をきいて集めてみよう	時間数	2
14週目			
授業学修内容	「発達の多様さと発達のつまずき」 発達の道筋についてある程度の共通性はあるとはいっても、それよりも個人個人の違いや共通した道筋から大きく逸脱するような発達を日常生活では意識することが多く、そのような個人差を理解することが重要であろう。ここでは発達の多様性と発達のつまずきについての理解を深めたい。		
授業外学修内容	今回の発達の内容について概説書や関連図書を読んでおくこと。復習として今回の授業の内容について自分なりにまとめて、今回の授業で取り上げられた内容の中で興味を持ったことについて調べておくこと	時間数	2
15週目			
授業学修内容	「授業のまとめ」 ここまでの内容をまとめて、試験にそなえる。		
授業外学修内容	これまでの授業で使用したレジュメや自分なりにまとめたものやエピソードを持ってくる	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		31	
その他に必要な自習時間		59	

Number	PSY-2-013-sn	Subject	Developmental Psychology			
Name	則近 千尋 (Norichika Chihiro)	Year and Semester	S	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>This class overview the process we grow up and we are brought up based on developmental psychology. What we can do now naturally is not achieved in a day. Rather, they are outcomes of interactions of inherent ability, environment, and experience. In this class provide understandings of common developmental trajectories, but also the variety of human development.</p>					